2022年2月　ADRセンター調停人候補者養成研修　効果測定問題の解答と解説

1. ×

テキストp.6 上から2行目。調停申込み審査の際に、調停手続の目的が、強行法規、公序良俗に反する恐れがないか、調停手続を実施するのに不適切でないことを確認する。

不適切なものである場合は申込みを受けることはできない。

1. ×

税務上の帳簿類と異なり、一件記録(手続実施記録)は10年間保存される。テキストp.6上から12行目

1. 〇

テキストp.7上から11行目。

1. ×

　　相手方への通知等と応諾要請は、相手方に通知書が到達して20日を経過しても、相手方から何のリアクションもない場合は調停手続は終了する。

1. 〇

裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律(ADR法)第3条第1項。テキストp.11上から12行目以降

1. ×

テキストp.14上から5行目以降

調停人となるものが予断をもって調停の場に臨むことを排した規定。

1. 〇

テキストp.15下から9行目

1. 〇

テキストp.18上から11行目

1. ×

テキストp.19下から12行目

1. 〇

テキストp.20上から6行目